

はれっと

2007

3

NO.91

報告

特集

市民活動の情報収集 発信に関する よくある質問

NPO立ち上げ基礎講座報告

そうか、NPOという手があったか。

3月のイベント紹介

NPO法人化いろは塾 受講者募集

じっくり、見て触って



フロアー点字案内板は各フロアーエレベーター近くにありますが、

現代は、わからないことはインターネットでポンと検索すれば、あっという間に何でも答えが手に入ります。そんな中で、わたしのようなアナログな存在は忘れられてしまうのかもしれない。でも、サポセンに初めてきた方や視覚障がいのある方などは、わたしの姿を見てホッとしてくださるに違いありません。わたしの役目は、サポセン利用者の方の道案内です。いつでも、各フロアーのエレベーター近くにおいて、みなさまの安全で快適なご利用をお祈りしています。見て触って、じっくり確認してください。「ネットでもいいですが、たまにはそんな答えの探し方もいいでしょう？」

はれっとは、市内の公共施設、県内NPO支援センターなどに毎月3000部送付しています。

サポセンの窓口や電話に寄せられるさまざまな相談の中でも、特に件数の多い市民活動の情報収集・発信についてのよくある質問を、そのお答えと共にご紹介します。



これから活動を始めたい人・支援を必要としている人からの質問 BEST 3

カッコ内の番号は、4ページのマップの場所を表しています。

について取り組んでいる市民活動団体の情報が知りたい。

A1

はい。よくぞ聞いてくださいました。

市民活動団体が取り組むテーマは、福祉、子ども、教育、国際交流、環境など、さまざまです。でも、サポセンでは、テーマを問わず、市民活動団体の情報を収集することができます。サポセンスタッフが特にお勧めする、市民活動情報収集に役立つツール（道具）をご紹介します。

団体情報ファイル()

団体情報ファイルは、サポセン開館当初の1999年から現在まで、仙台市内はもちろんのこと、宮城県内・外の市民活動団体/NPOの情報を集め続けてファイルにしたものです。その数はなんと、約5500団体分！この情報をぜひ活用していただきたいと思います。それから、サポセンのホームページでは、団体情報ファイルとは連動していませんが、約700団体の情報を検索することができます。

チラシ()・ポスター()・ニューズレター()
・団体パンフレット()

テーマを問わない市民活動団体のイベント・催しの情報がこのサポセンで手に入ります。さらに、団体の最新の活動の様子をうかがい知ることができます。「へー。こんな団体があったんだ。」と思わずワクワクしてしまうはずです。

NPOについて漠然とは知っているが、もっと勉強したい。

A2

NPOのことは、だいぶ知られるようになりました。でも、その活動の実態はまだまだナゾに包まれていると感じている人も。なんとなく興味はあるものの、参加するにはもう少し情報が必要という方も多いはず。そこで、NPOの基礎を学ぶお勧めのツール（道具）をご紹介します。

窓口相談()

サポセンスタッフは、**NPOに関する相談員**でもあります。窓口で何でも聞いてください。一緒に楽しくNPOについて学びましょう。

図書()

NPOのことがわかる**図書**がたくさん。貸出もしております。(一回2冊まで、2週間以内)

NPOいろは塾

だいたい月に一度のペースで開催しています。スタッフが塾長になり、気軽な雰囲気**NPOの基礎**について学びます。(1階窓口もしくはFAXにて事前申込が必要)

ボランティア活動に参加してみたい。
NPOで活動を始めたい。

A3

ボランティア活動とNPO、どこでどうつながってるの？なんて考えていませんか？

市民活動は、市民の自発的な問題解決行動です。ボランティアな活動なのです。活動への参加の仕方は人それぞれ。あなたなりの関わり方をサポセンで見つけてみませんか？

ボランティア情報コーナー()

市民活動団体/NPOの活動は、多様な市民が関わることによってより力をつけていきます。**ボランティア情報**をチェックして、地域の問題解決に参加してみませんか？

チラシ・ニューズレター・団体パンフレット

チラシやニューズレターは、その団体の最新の活動状況がわかる情報です。ボランティアとして活動に参加する前に、団体のイベントなどに参加してみるといいですよ。



活動中の市民活動団体 / NPOからの質問 BEST 3

団体の活動についてもっと多くの人に知ってもらい参加してほしいのですが、どうしたらよいでしょう？

A1

これは市民活動団体 / NPOの永遠の課題ですね。でも、解決のヒントはいろいろなところに転がっているのかもしれませんが。サポセンで見つかるヒントをいくつかご紹介します。

パンフレットを作ってサポセンに置く

団体パンフレットは、いつも持ち歩いていませんか？サポセンに置いてありますか？もしかしたら、まだ作っていないとか？団体の活動の目的と内容がすぐわかる団体パンフレットを活用しましょう。会員・メンバー募集の案内を掲載してもよいですね。作成の際には、サポセンの**印刷機**()が便利です。また、イベント開催時に、ホームページやチラシでのPRを行い、多くの市民に参加してもらうことで、活動への理解が深まり、参加につながります。

報告書はきちんと作って

サポセンに置く
年度末に**活動報告書**を作っていますか？活動に興味のある人が、団体の活動について知りたいときに参考にするのは活動報告書です。ぜひ作ってサポセンに置いてください。活動の軌跡をノウハウ本として発行し、サポセンの**図書販売コーナー**()で販売することもできます。

サポセンに相談する

やっぱり悩みは**相談**するのが一番。特効薬は無いかもしれませんが、改善策を一緒に見つけましょう。スタッフに気軽にお声掛けください。

今度開催するイベントの効果的な広報について教えてほしい。

A2

集客の悩みも尽きないものです。イベントの2~3日前なのに、定員の半分も集まっていない、なんて冷や汗ものですね。

サポセンスタッフにご相談ください。私たち自身も、一年を通して数多くの講座を開催していて、広報の悩みには敏感です。お役に立てることがあるはず！

クリッピングサービス()

クリッピングサービスとは、市民活動に必要なさまざまな情報を、それぞれ一枚のペーパーにまとめ、利用者に提供しているものです。

その中でも、広報に役立つ「**メディア活用大作戦**」は、人気NO.1。新聞各社、テレビ、ラジオ、フリーペーパーなどの連絡先のリストです。これ一枚で、多様なプレスリリースが可能です。

チラシ(骨プロ)

ホームページを持っている団体が増えてきましたが、PR術の元祖はやはり、手作り**チラシやフライヤー**です。他の仙台市内8公共施設にも配架してくれる骨プロも活用して、足を使ってイベントを売り込みましょう。広報の基本はなんとと言っても口コミです。それにつながるための魅力のあるチラシ作りをサポセンでどうぞ！

団体内の情報共有がうまくいかない。どうしたらいい？

A3

情報共有の重要性は、言わなくてもみなさん分かっていることですね。同じ志のもと集まったメンバーでも、放っておいたらいつの間にか全員が違う方向を向いていた、なんてことがあるかもしれません。

定期的なミーティングを開催する

忙しい中でも、年間を通してミーティングスケジュールをたてましょう。少人数であれば、サポセンの**交流サロン**()で、がっちり話し合いたいときは**貸室**をお使いください。

レターケース()で団体の窓口をひとつにする

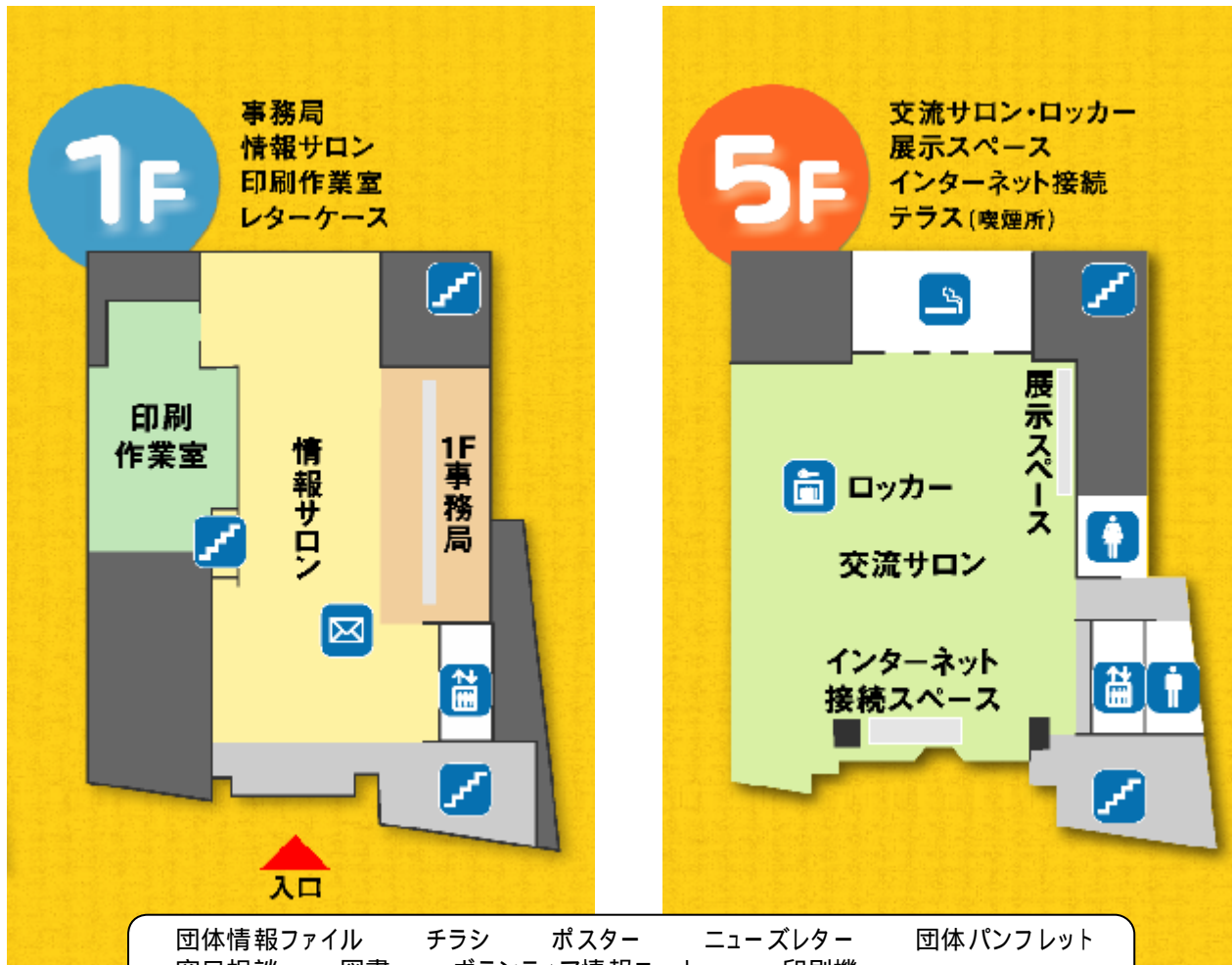
団体宛の郵便物をサポセンの**レターケース**に届くようにすれば、集まりやすくなり情報共有がしやすくなります。

活動の拠点をつくる

NPOの活動は、日々の事務作業に加え、イベントや研修会などもあります。これらすべてをひとつの場所で行えるとしたら便利ですよ。ロッカー・レターケース・事務ブースのサービスもあるサポセンではそれが可能なのです。**活動の拠点**ができれば、団体内の情報共有もぐっと楽になります。



今まで紹介のあったサポセンの機能・サービスはこちら！



- | | | | | |
|----------|------------|--------------|---------|----------|
| 団体情報ファイル | チラシ | ポスター | ニュースレター | 団体パンフレット |
| 窓口相談 | 図書 | ボランティア情報コーナー | 印刷機 | |
| 図書販売コーナー | クリッピングサービス | 交流サロン | レターケース | |



市民活動団体のパンフレット、募集！



団体を多くの人に知ってもらいたい
メンバー・共感者を集めたい
活動をしているのに、広がらない...

そんな思いをお持ちの団体のみなさん、
パンフレットを作っていますか？
もしあるなら、今すぐサポセンへ！
サポセンでは、市民活動団体のパンフレットを募集しています！
1階に配架しており、多くの市民に見てもらえるチャンスです。
それを証明するように、今あるパンフレットは
すぐなくなってしまう。
サポセンを使って、広く団体を広報しましょう！！

受付は1階の事務局で行っています。

そうか、NPOという手があったか。

これから何か始めたい、地域の役に立ちたい、そんな熱意のある約30名の参加者が、受講されました。内容を簡単にご報告します。

日時：2007年2月3日（土） 13:30～16:30
 場所：仙台市市民活動サポートセンター 研修室5
 講師：加藤哲夫
 （特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター 代表理事）
 コーディネーター：遠藤智栄
 （特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター
 プロジェクトディレクター）

「私・発」の公共性

私を開くことにより、公共性が生まれ、市民活動が始まります。そのひとつの事例として、「家庭文庫」を紹介します。

仙台は全国的に見ても、家庭文庫が盛んな地域です。家庭文庫とは、個人が収集した本を自宅で一般の人に解放するものです。1週間のうち1日自宅の一角を開放し、子どもたちの溜まり場にすることも、パブリックスペースを提供することになります。これも市民活動の一つです。何も大げさなことではなく、週に1日子どもと遊ぶ時間を持つという、精神的な余裕があるだけで行うことができます。

市民活動を行う上では、「私発の想い」「円卓会議の文化」「持ち寄りの文化」の3つが活動の土台になります。

NHKで放送されている「難問解決！ご近所の底力」では、問題を抱えた地域の人々が、全国から集められた問題解決の方法を参考に、取り組みの宣言をし、実践していく番組です。この過程には、「市民による成功例を知る」「皆が平等に議論する」、そして「社会的認知を得る」という、活動を実践していく上での重要な要素が凝縮されています。

ボランティア・NPO、大きな誤解

「なぜボランティアをしたいのかが分からない」、「どこからお金くるのか」。この2つは、一般の人が抱くボランティア・NPOに対する大きな疑問です。多くの人が、なぜ活動を行っているか、ボランティアなのになぜお金が必要なのか、と思っています。これは、言い換えると、私たちが「無報酬で他人に奉仕をしたがっている人」と思われているということです。

市民活動は、「市民による自発的な問題解決行動」です。先ほどの誤解は、目の前にある問題を解決するために活動を行っている側面が分かってもらえないことと、活動を行うための資金が必要になるということが、一般の人に理解されにくいために起こります。

活動の立ち上げに必要な手順と手法

活動を立ち上げようとする人には、次の2つのタイプがあります。

	活動のきっかけ	仲間の集め方
タイプA	自分の能力や資源を生かしたい	自分が外に動いて出会う
タイプB	相手や自分が困っている	自分の作り出す場（学習会等）に集客する

タイプAの場合、能力を生かしたいという想いがあっても、取り組みたい問題が無いことがあります。逆にタイプBの場合、取り組みたい問題は明確ですが、それを解決するための知識やお金が無いことが多いです。AとBの両者がそろると、活動がより促進されることがあります。

活動を始めるために、顧客とニーズを特定する必要があります。顧客を特定することにより、自分たちが行える問題解決のためのしくみとしかけもはっきりとしてきます。

また、下記の団体運営の基礎を、団体が小さなうちから取り組み、トレーニングすることが大切です。

- 活動の目的をはっきりとさせる
- ルール作りをする
- 役割（ロール）を設定する
- 計画を立てる

もうひとつの公共政策の担い手としての市民活動の本質を知る

活動を行う上で、アドボカシ（政策提言）と市民事業の2つの視点が大切です。例えば、不登校の子を抱えた親が、学校や教育委員会に提言を行う、これはアドボカシです。一方、市民事業は、不登校の子ども「居場所作り（フリースクール）」に取り組むことなどを指します。

また、活動を行う上で、困っている多くの人が救われ、たくさんの方が活動に参加できるような「しくみとしかけ」を作れるかが重要です。参加のエネルギーがなければ、市民活動はただの集まりになってしまいます。「しくみやしかけ」を学ぶには、異分野の団体の活動も参考になります。団体の活動を見たときに、この取り組みをどう応用すれば自分の活動に生かせるのかという視点を持ちましょう。

ここから始める!

イベント紹介

3月

サポートセンターで行われる、参加者募集中のイベントを紹介します。
原則として各団体に提出していただいた文章をそのまま掲載しています。
毎月5日締め切りで、翌月サポートセンターを会場に開催するイベント情報を募集しています。
ご希望の方はお問い合わせください。

2/26

色が語る癒しの効果

日時:2月26日(月)18:30~20:30

場所:研修室2

内容:色には温度があり、大きさがあり、味があり、形があります。色には人の心を動かすエネルギーがあります。この講座は何万とある色の意味を知り、心豊かに生きるためのヒントを探り出す企画です。今回は、色の持つ癒し効果です。

参加費:1,000円

(事前申込必要)

主催:アートユニット創造雑技団

問い合わせ:

TEL 080-1844-5318 (古俣)

FAX 022-255-2485

3/3・4

第4回全国バスマップサミット in 仙台

日時:3月3日(土)19:30~

3月4日(日)10:00~

場所:3日 研修室5

4日 セミナーホール

内容:3日・交通ジャーナリスト鈴木文彦氏による全国の公共交通事情最新情報など“濃いハナシ”を生で聴くチャンス!!
4日・全国各地のバスマップを市民の目から評価、検討。全国のバスマップ発行に至る苦労話なども明らかに!!

*協賛イベント(日本バス友の会)

2月20日~3月14日まで
5F 展示スペースにて「世界のバスマップ展示会」開催

参加費:3日 懇親会
食事付2,000円
(事前申込必要)
4日 全国バスマップサミット
資料代 500円

主催:全国バスマップサミット実行委員会

問い合わせ:

TEL 022-215-6267

FAX 022-213-1138 (アダチ)

問い合わせ:

TEL 022-215-6267

FAX 022-213-1138 (アダチ)

3/4・11

セルフヘルプのためのバッチフラワーレメディ講座

日時:3月4日(日)10:00~16:00

3月11日(日)10:00~16:00

場所:(2日間とも)研修室1

内容:心を癒す花の療法のバッチフラワーセラピー。この2日間の講座を学ぶことでバッチフラワーレメディの一連の知識とセルフヘルプのためにバッチフラワーレメディを使いこなすことができるようになります。

参加費:12,000円(教材費6,000円別途)(事前申込必要)

主催:バッチネットワーク・東北

問い合わせ:

TEL & FAX 022-378-0832

(村上)

3/3・4

公共交通利用促進フォーラム

日時:3月3日(土)・4日(日)

場所:セミナーホール

内容:3日 12:50 リレーセッション・市民が考える公共交通利用促進策アレコレ。

15:00 セミナー・基調講演 東京工業大学大学院教授 藤井聡氏。・プロジェクト報告 EST事業、仙台市環境社会実験。

17:30 交流会(300円)

4日 13:30 フォーラム
「どうする公共交通、どうなる地域の足!」東北芸術工科大学助教授 吉田朗氏。東京工業大学大学院教授 藤井聡氏。交通ジャーナリスト 鈴木文彦氏。

主催:(特活)まちづくり政策フォーラム

3/7
フリーマーケットであな
たも販売者、安心して
出店する為に

日時:3月7日(水)13:30~14:30
場所:研修室2

内容:あちこちで見か
けるフリマ、安くて良
い物がたくさん。皆さ
んも良く利用される
のではないでしょう
か?あなたの販売した
商品で事故が起こっ
たら責任は誰に?実
は売ったあなたに
来るかも知れませ
ん。そんな事になら
ないよう予防策を!

参加費:200円(資料
代)
(事前申込必要)

主催:日本テクニカル
デザイナーズネット
ワーク協会

問い合わせ:

TEL 070-5453-1277

FAX 022-245-9980(山岸)

3/8・22
夜間フットケア・セラ
ピスト養成講座受講
生募集

日時:3月8・22日(い
ずれも木曜)18:30
~21:00

(4月にかけて全6回
ですが、日時、期間
など相談に応じます
ので、お問い合わせ
下さい。)

場所:研修室3

内容:「気持ちいい」
「体が楽になった」
などボランティアで
感謝の言葉をいた
だいているリンパ
マッサージを覚え
て、あなたもセラ
ピストになりまし
ょう。心と体をい
やす気楽な手法で
す。修了試験に合
格すると修了証を
発行いたします。ま
ずは御連絡下さい!

参加費:37,000円(教
材費・認定申請料・
テキスト代含む)
(事前申込必要)

主催:JRFA足市場(J
RFA公認講師:森照
恵)

問い合わせ:

TEL&FAX 022-223-9023

携帯 090-7564-9831(森)

3/24
来て、見て、聞いて。
宮城 IYEO カフェ

日時:3月24日(土)14:00~16:00

場所:セミナーホール

内容:H18年度、内閣府
主催国際交流事業
である世界青年の
船や東南アジア青
年の船に参加した
宮城の青年の帰国
報告会です。カフ
エスタイルで入退
室自由。併せてH19
年度参加者募集
や写真展も開催し
ます。お気軽に足
をお運び下さい。

参加費:無料(事前申
込不要)

主催:宮城青年国際
交流機構(宮城I
YEO)

問い合わせ:

TEL 090-7079-8673

E-mail miyagiiyeo

@hotmail.com(伊勢)

市民活動シアターの催し

催事名(内容)	日時	入場料	お問い合わせ先
BigBand 『Accomplish Style』 3rdLive! 男性プレイヤーの多いジャズ界で女性ばかりのビッグバンドがある...それが『アカンプリッシュスタイル』女性ならではのきめ細やかな演奏に加えて、パワフルなサウンドも魅力 日曜の午後ホットなジャズはいかがでしょう?	3/25(日) 開場 13:30 開演 14:00	一般 1,200円 学生 1,000円 (事前申込必要)	TEL 090-1258-3228(名雷) ホームページ: http://jazzman2.hp.infoseek.co.jp/AS/index.html

さ ぽ せ ん 広 場

.....
* 利用票の感想欄より利用者のみなさんの声をご紹介します。

印刷室で紙折り機の利用。存在は聞いていたのですが、大変便利なのが使用してみてよくなりました。

印刷作業室に入ってすぐ右手にあるのが紙折り機です。手作業よりも早く、きれいに折る事ができます。二つ折り、三つ折り、観音開き...などいろいろな折り方が瞬時にできます。一度お試しください。もちろん無料で使えます。

サポセンは節水や節電など環境に配慮した運営を心がけておりますが、ご利用中に温度や臭いでお気づきの点がありましたら、調整いたしますので1階事務局までお申し出ください。

ぼくらはかんきょうのためにもうちょっとさむいのをがまんしてもいいとおもいました。

お知らせ

【NPO法人化いろは塾 受講者募集】

「NPO」と「NPO法人」はどう違うのだろう？
NPO法人になるためには、どうしたらいいの？
法人化するかどうか悩んでいるのだけれど・・・

NPOの法人化の基礎についての疑問に、
短時間（90分）でわかりやすくお答えします。

<日時> 2007年3月6日（火） 18:30~20:00
<塾長> 仙台市市民活動サポートセンタースタッフ
定員：10名（先着順）
資料代：500円
会場：仙台市市民活動サポートセンター 研修室2
申し込み・問い合わせ先
仙台市市民活動サポートセンター
TEL 022-212-3010
FAX 022-268-4042

案内図



ご来館の際は、公共交通機関をご利用ください。
[バス] 商工会議所前下車徒歩3分
[地下鉄] 広瀬通駅西5番出口すぐ
当施設に駐車場・駐輪場はございません。
お車や自転車で来館される方は、
周辺有料駐車場・駐輪場をご利用ください。
注) 路上駐車は周辺の迷惑となりますのでおやめください。

仙台市市民活動サポートセンターとは

さまざまな分野の市民活動団体やNPO、ボランティアなど、
非営利で公益的な活動をしている人たちが、これから活動しよう
と考えている人たちのための拠点施設です。

サポートセンターのサービスあれこれ

- 貸室(研修室・セミナーホール・市民活動シアター / 有料)
- 打合わせ、講演会、シンポジウム等で使えます。
- ロッカー(有料)・レターケース(無料)・事務用ブース(有料)
- 交流サロン
- 少人数の打合わせに予約なしで使えるフリースペース(無料)
- チラシ・ポスターの掲示、展示スペース、インターネット接続スペース(要申込/無料)
- 情報サロン
- 市民活動団体に関するさまざまな情報があります。
- 市民活動相談の受付や図書の閲覧・貸出も行っていきます。
- 市民活動に関する情報収集用インターネット閲覧(無料)
- 印刷作業室
- 印刷機(紙持ち込み / 1製版100円)、紙折り機(無料)、コピー機(1枚10円)
- 開館時間 平日 / 午前9時~午後10時
日曜・祝日 / 午前9時~午後6時
- 臨時休館日のお知らせ(施設点検等のため)
2/28(水) 3/28(水)

発行：仙台市市民活動サポートセンター
〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3
TEL:022-212-3010 FAX:022-268-4042
ホームページ <http://www.sapo-sen.jp>

発行日：2007年2月20日
編集：特定非営利活動法人 せんだい・みやぎ NPOセンター
編集人：真壁さおり 本田ふみ
イラスト：「ボランティア・市民活動カット集」
(社会福祉法人 大阪ボランティア協会)

古紙100%使用再生紙を使用しています。
大豆油インキを使用しています。

お知らせ
ぱれっとは、次号からリニューアル
します。お楽しみに！

ご感想・ご意見をお待ちしています！